

ご注文の際、プライス・コードもご記入下さい。  
プライス・コード{a ¥ 1 6 9 0/A ¥ 1 8 9 0/B ¥ 2 0 9 0/C ¥ 2 2 5 0/D ¥ 2 4 9 0}  
(表示価格は税抜き) 別途消費税が加算されます

[www.tambourine-japan.com](http://www.tambourine-japan.com) email: [song@tambourine-japan.com](mailto:song@tambourine-japan.com)

注文方法サイト: <http://www.oct-net.ne.jp/tambouri/order.htm>

[リイシュー/Historic Recording] はP4より

#### [DVD/GUITAR] PAL 方式

- \*SOIG SIBERIL:La Guitare Celtique ¥2780  
(PAL 方式 DVD の二枚組。ブルターニュを代表するケルティック・ギタリスト、Soig Siberil のケルティック・ギターの教則 DVD と Soig のギターの魅力をゲストを迎えた共演ライブ等多角的に紹介するライブ&ドキュメンタリー-DVD。Soig のギターの特徴と素晴らしさがつぶさにわかる。Coop Breizh)

#### [DVD/GUITAR]

※国内製 DVDプレーヤーで再生可能

- \*MICHAEL MESSER:Guitar Maestros Series 1 D  
(音質画像選曲全てが素晴らしいスライド・ブルース・ギター奏者 M. Messer のギター弾き語りライブ映像。"Main Feature"は Trevor Dann を話し相手に "Can't Be Satisfied" や "Walking Blues" など 8 曲を奏法に焦点を当てて演唱。"Additional Track"は完全ライブで "Rolling & Tumbling" や "The Lone Wolf" など 7 曲をクローズアップで演唱する。約 95 分。2006 作。Sound Technics)
- \*STEVE TILSTON:Guitar Maestros Series 1 D  
(音質画像選曲全てが素晴らしい S. Tilston のギター弾き語りライブ映像。鮮やかなフラットピッキング・ギターの伴奏による弾き語り "Here Comes The Nights" から SSW の Steve の弾き語りの世界に吸い込まれる。"Main Feature" の 8 曲、"Additional Track" の 8 曲の計 16 曲のパフォーマンスがスームアップで楽しめる。2006 作。Sound Technics)
- \*GORDON GILTRAP:Guitar Maestros Series 1 D  
(美麗アコースティック・ギターの G. Giltrap。"Main Feature"では 8 曲をインデュを挟みながら、Gordon の音楽の歩みを辿るようにアコースティック・ギターとダブルアコースティック・ギターを神業的名演奏を披露する。"Additional Track"には神業的名演奏が 9 曲 {こんな美しい "Here Comes The Sun" は聴いたことがない!} 収録。加えてエレキ・ギター演奏のワークショップのおまけ付き。ギター・ファン極楽保証。片面 NTSC でもう片面が PAL。2006 作。Sound Technics)
- \*THE FOUR MARTINS:Guitar Nights ¥2980  
(CD "Martins4" の DVD 版。Martin Carthy, Martin Simpson, Martin Taylor, Juan Martin のそれぞれが個性的ギタリスト達によるコンサート・ライブ。CD と同じ曲目で曲順の全 12 曲に 4 人のインデュ、Martin Taylor のギター・レッスン他。2003 作。P3 Music/ディスクの表が PAL all regions で裏が NTSC all regions)

(ギター・レッスン・ビデオ) NTSC

※国内製プレーヤーで再生可能

- \*TONY McMANUS:Celtic Fingerstyle Guitar Vol.2 D  
(John Renbournが「Tony McManus is the best Celtic guitarist in the world」と言った今最高のケルティック・ギタリストT. McManusによるギター・レッスン・ビデオ。Vol. 1は94分。P40のタブ付楽譜付。Vol. 2は68分。P32のタブ付楽譜付。2000作。Stefan Grossman Guitar Workshop)
- \*DAVE VAN RONK:Folk, Blues&Ragtime D  
(93作。Stefan Grossman Guitar Workshop)
- \*STEFAN GROSSMAN:Hot Fingerpicking Guitar Solos D  
(93作。Stefan Grossman Guitar Workshop)
- \*JOHN REID:Traditional Irish Fiddle Tunes For The Fingerpicking Guitarist(Texas Music and Video) D

### [CD/GUITAR, BOUZOUKI 他]

- \*PETER RATZENBECK:Outremer ¥2790  
(お宝。ゲスト:Andy Irvine。1995年作。Shamrock)
- \*PETER RATZENBECK:Gitarero ¥2790  
(お宝。ゲスト:Hans Theessink。1990年作。Shamrock)
- \*IAN CARMICHAEL:Ten Years On C  
(天才的アイリッシュ・バンジュー。Ian Carmichaelの演奏は職人芸的で、アイリッシュとスコティッシュと米国のオールドタイム・ミュージックの伝統的なリズムの特徴を追求・深化させることで、それぞれの音楽に新たな生命力と魅力とを生み出すことに成功している。バンジューの自由自在に弾ける音色と時折スライドして伸びる音色が新鮮で面白い。2015作。Splitrock Music)
- \*SOIG SIBERIL:30 Ans De Scene D  
(ブルターニュのケルティック・ギタリストで、Kornog, GwerzのメンバーのSoig Siberilの2枚組編集CD。1993年から2012年までのソロやデュオやグループの演奏が全29曲。ブルターニュのダンス音楽を独自のケルティックなギター音楽で演奏し、ブルターニュのトラッドの世界に新風を吹き込んだ。Tony McManus, Pierre Bensusanファン必聴。2013作。Coop Breizh)
- \*RALF ILLENBERGER:Red Rock Journeys C  
(アリゾナの「Red Rock」の山々の風景から生まれたギター音楽。彼のギターは妖精が踊るように？軽やか。ともするとこの手の音楽は過度に悠長になりがちだが、Ralfの演奏は細部に集中するようなリズム的な演奏で、曲が緻密で締まっている。ドラマティックな曲の展開はない。むしろ快いリズムの流れがキラキラと流れる印象なのだが、雲の流れや風の流れや風景の変化のようにも聞こえる。2011作。Stockfisch)
- \*ULLI BOGERSHAUSEN:Vinyl 81-86 B  
(Ulli Bogershausenなるギター奏者の81、82、84、86年の4枚のアルバムからの20曲入りマスター編集CD。研ぎ澄まされた感性に裏打ちされた自作作曲の一曲一曲はまた詩情豊かでもある。2007作。Laika)
- \*DARREN MALONEY:Complicated A  
(このアイリッシュ・バンジュー奏者のD. Maloneyの本作はそのユーモア感覚に溢れた多様多彩な音楽にワクワクさせられる。アイリッシュをベースにした彼のヴァリエティに富む音楽と人間味ある音楽は、最高に魅力的。彼のバ

ンゾーは良く踊る。w. Shane MacGowan, Joe Brennan, Eileen Gannon, Aiofe Cunningham, etc. 2011 作。Darren Maloney)

- \*ROBERT DOYLE:Life In Shadows A  
(タブリンのフィンガー・スタイルのギター奏者でシンガー、R. Doyle のデビュー作。Pierre Bensusan の門下生という彼のギター弾き語り是一種独特の世界を創作。Bert&John をモデルとする彼独特な、深いところでアイリッシュ・スピリットがみなぎるフォークギター・ミュージックの世界を生み出している。2011 作。Robert Doyle Music)
- \*DAVY GRAHAM:From Monkhouse To Medway 1963 - 1973 A  
(1963 年の音源からの 5 曲と 1973 年からの音源からの 21 曲の 16 トラック。全曲未発表音源。2010 作。Hux)
- \*STEVIE DUNNE>About Time B  
(副題“Traditional Musiv On Tenor Banjo”。ピクニック気分の音楽や上品そうでとぼけた感じの音楽やアカパティックなはや弾きで楽しませ躍らせる、かと思えば、今度はスマートな音楽で気分を爽やかにしてくれる。魔法の音楽。2010 作。Stevie Dunne)
- \*GORDON GILTRAP:Airwaves (2000 作。La Cooka Ratcha) C  
\*GORDON GILTRAP:Captured From A Point In Time B  
(2006 作。ドイツHypertension)
- \*DAVID SURETTE:The Green Mandolin A  
(20 年以上ニューイングランドのケルト音楽シーンで活動するマンドリン&ギター奏者のヨ。D. Surette のマンドリンとギターによるアイリッシュを中心にした彼の演奏は職人技的な美しい演奏で魅了する。ふたつの楽器の音色の特性を生かしきった彼のアイリッシュは親しみやすいリズムやメロディの内にも優美さや気品を宿している。全 13 トラック。2009 作。Madrina Music)
- \*JEFF LANG:Half Seas Over A  
(オーストラリア人ギター奏者で SSW の J. Lang の本作はアメリカのフォークやブルースの根源へと一心を傾けた謙虚な傑作。集中力ある細心のギターの絶妙さにも心奪われるが、Jeff の物語を語るような唄の間と空気感が素晴らしい。2008 作。Furry)
- \*ALEC STONE SWEET:Tumblin' Gap a  
(オルド・タイム・ミュージックとアイリッシュのギター演奏。アイリッシュは Planxty や Kevin Burke のレパートリーや“John Ryan's”等だが、アタックの強いクローハンマー・スタイルで弾くギターは強弱が明確で古臭い音楽どころか音楽がキラキラ輝いている。全 16 トラック。2005 作。Solid Air)
- \*LUCIO DAMASCELLI:Il Pieno e Il Vuoto C  
(このイタリア人ギター奏者も素晴らしい。感性がやはりヨーロッパ的。気品があって優雅でロマンティック。ヨーロッパ的感性で純度高い華麗なギター音楽の世界を創造している。2006 作。Lucio Damascelli)
- \*MARTINS 4 A  
(Martin Carthy, Martin Simpson, Martin Taylor, Juan Martin のそれぞれが個性的ギタリスト達による個性的ギター・ソロとギター饗宴{競演}集。2005 作。P3 Music)
- \*DESSIE KELLIHER:Banjoed C  
(多彩なリズム飛び交う楽しいバンゾーによるアイリッシュ。様々なダンス曲を驚異のテックで楽しませる。w. Mike McGoldrick, Peter Browne, Tony

Byrne, Gary O'Brien, Padraig O'Se, Colin Farrell, etc. 2004 作。  
Dessie Kelliher)

[**リイシュー/Historic Recording**]

(**CD/U. S. A.**)

\***BONNIE RAITT & PAUL BUTTERFIELDS BETTER DAYS**

:Los Angeles 1973

C

(1973年ロサンゼルスでのFMライブ。ブックレットにもトレイにも参加ミュージシャンの記載はなし。だが、入手した情報によると、前半の“Love Has No Pride”や“Nothing Seems To Matter”を含む五曲は「Bonnie Raitt with Paul Butterfield, Freebo, Bill Payne, Chris Parker」で、後半の“Small Town Talk”や“New Walkin' Blues”を含む六曲は「Paul Butterfield と Better Days [Geoff Muldaur, Ronnie Barron - Vocals, Christopher Parker, Billy Rich, Amos Garrett]」によるライブ。当時のそれぞれの個性と持ち味が存分に発散されていて、抜群。前半を聴いて改めて思うのは、Bonnie Raittのシンガーとしての魅力と南部志向の音楽性の豊かさ。加えて、バックの音が個性豊かに充実。後半の Better Days は、これぞ Better Days の重厚なブルース～南部志向ロック。1973年/2018作。Live Recordings)

\***BONNIE RAITT: The Archive**

¥2980

(あつと驚く Bonnie Raitt の FM ライヴ三枚組。一枚目は 1973 年ワシントン DC のジョージタウン大学でのアコースティックをメインにしたライブで 18 曲。二枚目は 1979 年ミネアポリスのオーフィム劇場でのライブで 18 曲。三枚目は 1989 年オハイオ州シンシナティでのライブで 17 曲。時代時代の Bonnie Raitt の音楽の魅力と音楽家としての変化と成長も楽しめるおよそトータル 4 時間のライブ。2017 作。Broadcast Archive)

\***DESERT ROSE BAND: Live In New York 1989**

B

(Chris Hillman, Herb Pedersen, John Jorgenson, Jay Dee Maness, Bill Bryson, Steve Duncan の Desert Rose Band のラジオ番組でのライブ。彼らの二枚目“Running”の翌年のライブで、彼らのカントリー・ロックが最も輝いていた頃のライブ。C. Hillman のヴォーカルも C. Hillman と H. Pedersen のヴォーカル・ハーモニーも、若々しく澁刺としたカントリー・ロックも充実しきって、泣けるほど良い。加えて、音質の良さにも驚かされる。全 13、夢の中。1989 年/2018 作。Roxvox)

\***ATLANTA RHYTHM SECTION: From The Vault**

D

(南部ロックバンドの Atlanta Rhythm Section の二枚組編集 CD。ディスク 1 はアンソロジー的構成で、未発表曲 2 曲を含むスタジオ録音曲集の全 15 曲。ディスク 2 は主に 1978 年のライブ音源からのライブ集で 13 曲。注目すべきは、2 曲の 1978 年の東京公演ライブ曲を含むディスク 2。ディスク 1 で彼らの足跡を振り返った後に聴く、ディスク 2 は南部ロックバンドとして脂ののっていた時代のライブ集で、もの凄いインパクト。ヴォーカルもロックも充実仕切っていて、圧巻。2018 作。Sunset Blvd)

- \*BRUCE SPRINGSTEEN: Acoustic Radio 1974 C  
 (1974年のテキサスのヒューストンとマサチューセッツのボストンでのFMライブ。時代的に共に1973年リリースの一枚目と二枚目収録の曲プラス数曲が収録された本作は、フォーク・シンガー然とした装いながら、デビュー間もない頃の何か熱い物を内に秘めたSpringsteenの魅力がにじみ出ている、味わい深い。“Growin’ Up”や“Mary Queen of Arkansas”や“Does This Bus Stop at 82nd Street?”{以上一枚目}や“Wild Billy’s Circus Story”や“4th of July, Asbury Park(Sandy)”やRosalita (Come Out Tonight)”{以上二枚目}他全15トラック。収録に際し、既に大物の貫禄というか、ふてぶてしい印象。1973年/2017作。Gold Ship Funke)
- \*DAKOTA DAVE HULL & SEAN BALCKBURN C  
 :North By Southwest  
 (1978年作の二枚目もデジタル・リマスターで再発。原盤は素朴なSSW系アルバムを世に送り出していたBiscuit City。一枚目に較べて自然体の、内面から生まれてくるような唄と土臭いサウンドが何とも心地よい。これを超えるまろやかなアメリカン・ルーツ・ミュージックはあまりない。今聴いても、音楽は古くさいが瑞々しい。二人ともギター、上手いなあ。w. Tim O’ Brien, Peter Ostroushko, Butch Thompson。1978年/2017作。Arabica)
- \*GRAHAM NASH: Songs For Beginners A  
 (便在庫一枚。宜上USAにて。名盤。1971年。Atlantic)
- \*KRIS KRISTOFFERSON: The Austin Sessions A  
 (1999年にAtlanticからリリースされた“The Austin Sessions”{収録が始まったのは1997年}が二曲の未発表曲を加え、新たな装丁と解説付で発売された。Jackson Browne, Steve Earle, Matraca Berg, Vince Gill, Alison Krauss, Catie Curtis, Mark Knopflerなどのゲスト・シンガーとの共演でも話題だが、Steve Bruton, Larry Paxton, Mike Baird, John Willis, Jim Coxなどの精鋭で固めた土臭いルーツロックは、気合い充実のKrisのヴォーカルと絡み合っていて圧巻。全14曲。1999/2017作。Rhino)
- \*DERROLL ADAMS: Feelin’ Fine B  
 (Village Thingから1972年にリリースされた“Feelin’ Fine”がベルギーのBest Sellerから1976年にリリースされた“Along The Way”から6曲のボーナス曲を加えてCD再発。“Feelin’ Fine”の共演者はWizz Jones, Danny Adams, Roland Van Campenhoutで、“Along The Way”はMaggie Holland, Tucker Zimmerman, Youra Marcus, Danny Adams。バンジョーを爪弾きながらうたう低く柔らかな唄の数々は、心にふんわりと残る。全18曲。2017作。Ghost From The Basement)
- \*THOMAS JEFFERSON KAYE: Thomas Jefferson Kaye C  
 (Bob NeuwirthやGene ClarkのプロデューサーでもあったSSWのThomas Jefferson Kayeのファースト・ソロ。元々スワンプ志向の音楽性を持つThomasがカリフォルニアに移って制作した西海岸産スワンプ風ロック。Donald FagenやWalter BeckerやRick

- Derringerに加えて、女性スワンプ・シンガー隊のClydie King, Venetta Fields 他のも起用したロックは、「スワンプ志向」で結集していて、完璧。1973年/2016作。紙ジャケ。韓国 Big Pink)
- \*ORPHAN:Everyone Lives To Sing C  
(Orphan{Eric Lilljequist{ヴァーカル、ギター}と Dean Adrien{ヴァーカル、パーカッション}のフォーク・デュオのバンド}の1972年の一枚目。ゲストで参加の Jonathan Edwards の唄にも通じるヒューマンな味わい。1972年/2016作。紙ジャケ。韓国 Big Pink)
- \*JOHN PRINE:Bottom Line ¥2690  
(二枚組ライヴ。1978年、ニューヨークのボトムラインでのライヴ。FMラジオの音源から全30曲。“Pink Cadillac”収録のメンバー {John Burns, Howard Levy, Tom Pickarske, Angelo Varias}がバックアップ。1978/2015作。All Access)
- \*LEE CLAYTON:Live At Rockpalast D  
(CD+DVDセット。Lee Clayton Band~Lee Clayton{ヴァーカル、ギター、ハーモニカ}, Philip Donnelly{ギター}, Colin Cameron{ベース}, Tony Newman {ドラムス}~の1980年、ドイツのテレビ番組のショー向けスタジオでのライヴ。CDはDVDのオーディオ版。全15曲。1980/2014作。Repertoire)
- \*JERRY CORBITT:Corbitt C  
(YoungbloodsのJerry Corbittの1969年の一枚目。サイケデリック・ロック華やかなりし時代、後のSSWのようにブルースやカントリーに立脚した音楽を堂々と体現している。YoungbloodsはJesse Colin YoungとJerry Corbittの二人組でスタートしたバンドだが、音楽はJesseとは対象的に泥臭く、パワフルだ。Produced by Charlie Daniels。1969年/2015作。紙ジャケ。韓国 Big Pink)
- \*JESSE WINCHESTER:Seems Like Only Yesterday B  
(副題“Live In Montreal 1976”。FMラジオ収録のJesse Winchester {1944-2014}の1976年のコンサート・ライヴ。全18トラック。J. Winchesterの最も充実していた時代のふくよかなライヴ。1976/2015作。Real Gone Music)
- \*ROHRBACKER, HENDREN & KINGEN  
:Rohbacker, Hendren & Kingen C  
(1974年に自主制作で500枚発売されたというレゴンの三人組フォーク・ロック・バンド。これは面白い。Byrdsのカントリーな部分を排除したややサイケデリックな時代感覚を持ったフォーク・ロックで、トリオ編成ながら、エレキギター、ドラムス、ベースの組み合わせによるは、軽快にロックしていて快感だし、ソフトで柔らかな個性で、SSWとしても魅力のあるRoy Rohrbackerのヴァーカルと、そしてトリオによるソフトなハーモニーは、中々魅力的。あの時代に米国の北西の端っこで、時代の波を受けて、しこしこ俺たち流の優しいロックを創っていたヒューマンなロック・バンドがいたんだね。Floating House Bandを思い出した。1974年/2014作。紙ジャケ。韓国 Big Pink)
- \*J. J. CALE:Really (1972作。カナダ Mercury) a
- \*J. J. CALE:Grasshopper (1982作。カナダ Mercury) a
- \*RY COODER:Chicken Skin Music (1976作。カナダ Warner) a

- \*BILL STAINES:The First Million Miles Vol 2 A  
(19 曲収録編集 CD。1998 作。Rounder)
- \*ELVIN BISHOP:Let It Flow(1974 作。PolyGram/Capricorn) B
- \*PETE SEEGER:Rainbow Race B  
(本作は誰もが知るアメリカン・フォーク・シンガーの Pete Seeger の 1973 年のアルバム。反戦歌を含む本作は社会派のフォーク・シンガーとして、柔軟で力のある唄を聞かせていて、素晴らしい。唄は真っ直ぐに人の心へと向かっている。そんな中、ラスト曲“Hobo’s Lullaby”はことのほか心に沁みる。伴奏はギターとバンジョーとベース。唄に人を動かす力があつた時代の音楽。1973/2014 作。Talking Elephan)
- \*THE BAND:Live At The Academy Of Music 1971 ¥7800  
(副題“The Rock Of Ages Concerts”。4 枚組 CD+DVD のセット。ディスク 1 とディスク 2 が“Live At The Academy Of Music 1971”の音源からの計 29 曲{その内、Bob Dylan との共演が 4 曲}、ディスク 3 とディスク 4 が“New Year’s Eve At The Academy Of Music 1971”の音源からの計 27 曲{その内、Bob Dylan との共演が 4 曲}。DVD はその中からライブ映像 25 曲+“Archival Film Clips - December 30, 1971”から 2 曲。19 曲が未発表音源。解説:Robbie Robertson。縦横各約 25センチ、厚み 1.5センチのハードカバーブック型ケース。一家に一セット。2013 作。Capitol)
- \*THE BAND:Stage Fright(リマスター。4 曲ボーナス曲付。EU EMI) ¥1280
- \*THE BAND:Islands(リマスター。2 曲ボーナス曲付。EU EMI) ¥1280
- \*RICK DANKO:Live at Uncle Willy’s a  
(1989 年、ニューヨークの Uncle Willy’s Kingston でのギター弾き語りライブ。全 12 曲。2011 作。Floating World)
- \*RICK DANKO:Live At The Tin Angel a  
(2 枚組。全 27 曲。1999 年 1 月 15 日、フィラデルフィアの Tin Angel での R. Danko {この年の 12 月 10 日他界}のライブ。享年 56 歳。2011 作。Retro World)
- \*RICK DANKO  
:At Dylan’s Cafe Washington DC December 8, 1987 a  
(2 枚組。Rick Danko の何とギターの弾き語りの全 43 曲。深夜、しみじみと聴くのがいい。2009 作。Voiceprint)
- \*JOHN SEBASTIAN:Tar Beach D  
(John B. Sebastian の 1992 年のアルバム。Shanachie)
- \*GREG DOUGLASS:Maelstrom B  
(開封。w. Norton Buffalo, Steve Douglass, Nick Gravenites, Doug Harman, Peter Rowan。ブックレットにパンチ穴有り。1993 作。Taxim)
- \*ERIK DARLING:Child, Child B  
(開封。カバーにパンチ穴有り。2000 作。Wind River)
- \*BOB DYLAN:Folk Singer - Humdinger  
“Just About As Good As It Gets!” C  
(2 枚組 CD。1961~1962 年録音の全 44 曲。数えてみたら、ラジオや教会等でのライブ曲が 32 曲収録。Dylan のデビュー時の唄がスタジオ録音とライブで楽しめる。2012 作。Smith&Co)
- \*THE BURRITO BROTHERS  
:Back To The Sweetheart Of The Rodeo D  
(2 枚組。1990 作。Appaloosa)

- \*RANDY BURNS AND THE SKY DOG BAND  
:Still On Our Feet a  
(72年作の再発盤バンド編成の本作は春を迎えた鳥達のように澆刺として爽快。最高的一枚。全12曲。R. Burnsのサイン入り。スリムケースCD-R仕様。Wildcat)
- \*RANDY BURNS:Live At Jocko's a  
(1976年のギター弾き語りライブ。Eric Anderson作2曲“The Girl I Love”と“More Often Than Not”にDavid BlueやTom Ghent、Tom Paxton等の唄、加えてトラッドの名曲2曲“Wild Mountain Thyme”と“Oh Shenandoah”等、R. Burnsならではの世界。全16曲。R. Burnsのサイン入り。スリムケースCD-R仕様。2011作。Wildcat)
- \*RANDY BURNS:The Exit & Gaslight Years 1965-1969 a  
(二枚目“Evening Of The Magician”{68作}から7曲、三枚目“Song For An Uncertain Lady”{70作}から5曲と未発表音源から1曲の計13曲収録編集盤。ひっそりと自分の世界に酔ううつろなR. Burnsの唄の世界。心はあの時代。CD-R。自主制作)
- \*RANDY BURNS:Evening Of The Magician a  
(1968年作で、ボクの心の中では、Eric Andersenの“Blue River”とイメージが重なるSSWアルバムの静かなる名盤。未発表曲1曲を含む11曲。68作。CD-R。ESP)
- \*THE BEST OF RANDY BURNS & THE SKYDOG BAND a  
(70年代初めの“Skydog Band”をバックにしたフォーク・ロック時代のR. Burnsの17曲収録のベスト盤。傷つきそうなくらい感受性豊かで内省的な唄の世界。CD-R。自主制作)
- \*TOWNES VAN ZANDT:Live At McCabe's A  
(1995年McCabe'sのライブ。1996作。Varese Sarabande)
- \*CASEY KELLY:Casey Kelly a  
(C. Kellyの1枚目。バックはLeland Sklar, Russell Kunkell, Craig Doerge。そしてSneaky Pete, Jim Messina, Al Garth等がゲスト。プロデュースは当時PocoのプロデューサーだったRichard Sanford Orshoff。CD-R。It'sAboutMusic.com)
- \*INTERNATIONAL SUBMARINE BAND AND JON CORNEAL  
:Back At Home & Jon Corneal And The Orange Blossom  
Special a  
(2000年作の再結成ISBの“Back At Home”{ボーナス曲2曲を含む12曲}とISBのJon Cornealと彼のバンドの1974年のアルバムの“2 in 1”。2011作。ドイツSPV)
- \*JANIS JOPLIN:X2 A  
(“Cheap Thrills”, “Pearl”の2枚のアルバムの2枚組セット。2000作。Columbia)
- \*FRANK CHRISTIAN:From My Hand(1995作。Palmetto) ¥2980
- \*VINCE BELL:Phoenix(1994作。Watermelon) ¥2980
- \*BOB DYLAN:The Bootleg Series Vol.6 “Live 1964” ¥2980  
(1964年ニューヨークのPhilharmonic Hallでの2枚組ライブ。全19曲。内4曲はJoan Baezとのデュエット。問題作“Bringing It All Back Home”発表のちよい前のギター弾き語りライブ。2004作。Columbia)

- \*BOB DYLAN:The Freewheelin' (63 作。Columbia) ¥1280
- \*SWAMPWATER:Reunion A  
 (1979 年、再結成時収録された音源からの全 14 曲。メンバーは Gib Guilbeau, John Beland, Thad Maxwell, Micky McGee。カントリー・ロックの旨みたっぷり。カントリー・ロック・ファン至福保証。本作は Larry Murray に捧げられている。イタリAkarma)
- \*DELANEY&BONNIE & FRIENDS:On Tour (1970 年作。Atco) a
- \*JIM GROCE:Bad, Bad Leroy Brown & Other Favorites a  
 (タイトル曲他全 10 曲。カナダEMI)
- \*THE YOUNGBLOODS:Euphoria 1965-1969 (全 25 曲。99 作。Raven) a
- \*GENE CLARK:American Dreamer 1964-1974 (92 作。Raven) a
- \*LINDA RONSTADT:Don't Cry Now ¥1250  
 (1973 年作。Produced by Peter Asher。w. Glenn Frey, Buddy Emmons, Herb Pederson, Sneaky Pete Kleinow, Jimmie Fadden 他。73/2010 作。Rhino)
- \*ARLO GUTHRIE:Alice's Restaurant (Rising Son) A
- \*JESSE WINCHESTER:Jesse Winchester (70 作。Stony Plain) B
- \*WARREN ZEVON:Preludes B  
 (Disc 1 が未発表音源から 16 曲収録、Disc 2 が 99 年の Austin City Limitsスタジオでのライヴ 3 曲とインタビュー 5 つを収録の 2 枚組。2007 作。New West)
- \*TOM RUSH:Take A Little Walk With Me A  
 (66 作。Collectors' Choice)
- \*TIM HARDIN:2 B  
 (67 年作がオリゾンタル・アート・ワークの紙ジャケット{デジパック}にて CD 再発。誰もが認める Tim のベスト。"If I Were a Carpenter", "Red Balloon", "Lady Came From Baltimore", "Tribute To Hank Williams" 他。67/2006 作。Lilith)
- \*JAMES TAYLOR:Best Live a  
 ("Sweet Baby James" で幕開けし、"That Lonesome Road" のアカペラで幕を閉じる 17 曲入ライヴ。アカスティックなのからポップなのまで全て彼らしいライヴ。93 作。Columbia)
- \*TERRY MELCHER:Terry Melcher (74 作。Collector's Choice) A
- \*CHRIS HILLMAN:Slippin' Away (Wounded Bird) A
- \*FIREBALL:Break Of Dawn/Mirror Of The World A  
 (最高のカントリー・ロック・バンドの"Break Of Dawn"と"Mirror Of The World"の"2 on 1"。82/83/2004 作。Wounded Bird)
- \*THE ELVIN BISHOP GROUP  
 :Party Till The Cows Come Home B  
 (デビュー作{69 作}、"Feel It" {70 作}、"Rock My Soul" {72 作} の 3 枚にライヴ音源 2 曲を含むボーナス曲 3 曲付計 30 曲入 2 枚組 CD。69/70/72/2004 作。イギリスAcadia)
- \*JEFFERSON AIRPLANE:After Bathing At Baxter's a  
 (元 Jefferson 7 人組の私メが欲しくて仕入れ。全て 67 年録音未発表のボーナス曲 4 曲付で CD 化。67/2003 作。BMG)
- \*LEON REDBONE:Red To Blue (87 作。August/Rounder) ¥1280

- \*LEON REDBONE:Whistling In The Wind ¥1280  
(88 作。August/Rounder)
- \*LEON REDBONE:No Regrets (88 作。August/Rounder) ¥1280
- \*EMMYLOU HARRIS:Luxury Liner ¥1280  
(未発表音源 2 曲ボーナス曲入。名盤。76/2004 作。Warner)
- \*EMMYLOU HARRIS:Quarter Moon In A Ten Cent Town ¥1280  
(未発表音源 2 曲ボーナス曲入。名盤。78/2004 作。Warner)
- \*EMMYLOU HARRIS:Blue Kentucky Girl ¥1280  
(未発表音源 2 曲ボーナス曲入。名盤。79/2004 作。Warner)
- \*DAVE MASON&CASS ELLIOTT ¥1980  
(71 作。ビクター・エンターテインメント)
- \*SIR DOUGLAS QUINTET:Is Back A
- \*JACK ELLIOTT:Ramblin' Jack (24 曲入編集 CD。95 作。Topic) A
- \*JOHN PRINE:German Afternoons (Oh Boy) a

**(CD/U. S. A. {国内盤})**

- \*DON NIX:In God We Trust (Vivid) ¥2800
- \*JIM PULTE:Out The Window+Shimmy She Roll, Shimmy  
She Shake (一枚目と二枚目の 2in1。Vivid) ¥2800
- \*FRED NEIL:Bleecker & Macdougall (Warner) A

**(CD/CANADA)**

- \*WILLIE P. BENNETT:Blackie And The Rodeo King D  
(1978 作。Bnature Music)
- \*JOEY GREGORASH:North Country Funk C  
(カナダの SSW の J. Gregorash の一枚目。録音はメンフィス。  
Christopher Kearney くらいがしっと骨太なヴォーカルは米国南部音楽の最前線のパワーのあるロックで、最高にノリノリ。二曲目で同郷の Neil Young の "Down By The River" をやっています。  
1971 年/2014 作。紙ジャケ。韓国 Big Pink)
- \*JOEY GREGORASH:Tell The People C  
(1973 年発売の二枚目も一枚目同様メンフィスのスタジオ。Joey は黒人シガー-のよううたいたかったのだろう。本作ではソウルフルに熱唱するタイプの唄が目立っていて、唄に熱気が出ている。ただし、彼の唄からは黒っぽさはさほど感じられない。彼のシガー-としての資質の問題だろう。心は「黒人シガー-」でも生まれた唄は、やや熱唱型のヴォーカル中心の王道的ロック。本作で Neil Young の "Down By The River" を再演している。当時の空気が充満していて、音全体が熱く、そして懐かしい。1973 年/2014 作。紙ジャケ。韓国 Big Pink)
- \*LEONARD COHEN:X2 A  
(“Songs Of Leonard Cohen”, “Songs Of Love And Hate” の 2 枚のアルバム) の 2 枚組セット。2003 作。Columbia)
- \*RAY MATERICK:Life And Times ¥1500  
(Ray Materick の 70 年代の音源からの 2 枚組編集 CD。全 24 曲収録。SSW ファンの宝物。2003 作。Linus)
- \*JONI MITCHELL:Ladies Of The Canyon a

- (リマスター。“Woodstock”, “The Circle Game”を含む12曲。70作。Warner)
- \*BRUCE COCKBURN:Sunwheel Dance A  
(リマスター。2曲ボーナス・トラック付。71作。True North)
- \*BRUCE COCKBURN:Stealing Fire A  
(“Deluxe Edition”。リマスター。2曲ボーナス・トラック付。True North)
- \*BRUCE COCKBURN:Live(リマスター。True North) A
- \*KATE&ANNA McGARRIGLE:Love Over And Over ¥2090  
(w. Jane McGarrigle, Gerry Conway, Pat Donaldson, Alun Davies, Mark Knopfler, Paul Samwell-Smith, etc. 82作。PolyGram)
- \*GORDON LIGHTFOOT:Sunday Concert Live ¥950  
(69年のトロントでのライブ。全11曲。EMI)

### (LP/BRITISH FOLK)

- \*SHIRLEY COLLINS:Shirley Sings Irish ¥1690  
(Collector レコードから発売されていた稀少4枚のEPの中の四枚目のEP“Shirley Sings Irish”がおよそ50年の時を経て、7インチEP盤で再発された。Robin Hallの素朴なギターの伴奏の音色といい、Shirley Collinsの爪弾くバンジョーの音色といい、そして主演のShirley Collinsの素朴なシンギングといい、唄も音も温和で素朴で美しい。曲目はA面が“Love Is Teasing”, “She Moves Through The Fair”の二曲で、B面が“The Bold Irish Boy”, “Must I Go Bound”, “Dennis O’ Reilly”の三曲。2016年制作の2017年発売。Fledg’ling)
- \*BERT JANSCH: Moonshine ¥3090  
(名盤中の名盤。LP盤。1973年作。1973年/2015作。Earth)
- \*BERT JANSCH:L. A. Turnaround ¥3390  
(名盤中の名盤。1000枚限定カラー{青}LP盤。アルバム未収録曲4曲を追加収録したダウンロード・コード付。1974年作。1974年/2018作。Earth)\*NICK DRAKE:Five Leaves Left(69作。Island) D
- \*NICK DRAKE:Pink Moon(72作。Island)

### (CD/BRITAIN {国内盤})

- \*BRINSLEY SCHWARZ:Please Don’t Ever Chance ¥2800  
(在庫一枚。1974年の五枚目。解説・歌詞付。MSI)
- \*PENTANGLE:Reflection C  
(在庫期間が長いので、検品してお送りします。歌詞・対訳・解説付。1971作。MSI)

### (CD/BRITAIN&IRELAND他)

- \*BERT JANSCH:A Man I’d Rather Be (Part 1) ¥4980  
(ハードカバーブック型四枚組ボックスセット。ディスク1は1965年の“Bert Jansch”, ディスク2は1965年の“it Don’t Bother Me”, ディスク3は1966年の“Jack Orion”, ディスク4は1966年の“Bert and John”。ブックレットはBill Leaderによる新たな解説や未使用ジャケット候補など未公開写真など興味深い内容になっている。保存版。2018作。Earth)

- \*BERT JANSCH:A Man I'd Rather Be (Part 2) ¥4980  
 (ハードカバーブック型四枚組ボックスセット。ディスク1は1967年の“Nicola”、ディスク2は1969年の“Birthday Blues”、ディスク3は1971年の“Rosemary Lane”、ディスク4は1973年の“Moonshine”。ブックレットは英MOJO Magazine誌のライター Dave Hendersonによる新たな解説や未使用ジャケット候補など未公開写真など。保存版。2018作。Earth)
- \*RAB NOAKES:Bridging the Gaps D  
 (二枚組。一枚目は1972年の“Rab Noakes”全収録曲+ボーナストラック2曲と1978年の“Restless”のLPのA面全収録曲の計19曲で、二枚目は“Restless”のLPのB面全収録曲+ボーナストラック2曲と1980年の“Rab Noakes”全収録曲+ボーナストラック1曲の計18曲。本作の聞き物は1972年の彼の一作目“Rab Noakes”。ナシュビルの名プロデューサーのBob Johnstonをプロデューサーに、そして彼の紹介で参加したドラマーのKarl Himmelを米国から迎え、当時のRabの音楽仲間等[ゲスト:Archie Fisher, Gerry Rafferty, Joe Egan]とロンドンで収録された“Rab Noakes”は、初期Lindisfarneに通じる人なつっこい唄と牧歌的なフォークロックが快い名盤。CD化は初めてなのでは?2018作。Neon)
- \*RAB NOAKES:The River Sessions C  
 (1982年のギター弾き語りライブ集。Lindisfarneの演唱で馴染みのある“Together Forever”ほか自作曲11曲。SSWとしての彼本来の唄の魅力が味わえる。2003作。River)
- \*PERERIN:Haul Ar Yr Eira C  
 (ウエールズのフォーク・グループの1980年の一枚目。四曲の伝統歌を含む本作は、全曲ウエールズ語で、女性シンガーのNest Llywelynの神秘性を秘めた清楚なシンギングとArfon Wynの叙情性のある円やかなシンギングとギター、フルート、ハーブ、ベース、ドラムス、パーカッションなどによるフォークは、陰影感のある理想のブリティッシュ・フォークのタイプだが、ウエールズ語のシンギングの芳香は、その後に登場するウエールズのトラッド・グループの優美な芳香と相通じ、当時のブリティッシュ・フォーク・グループと微妙に味わいを異にしている。LPは超レアらしい。本CDも超レアかも。1980作。Face The Music)
- \*WIZZ JONES:Wizz Jones C  
 (これがWizz Jonesのソロ一枚目。本作が発売された1969年という時代に、もう既にギター・スタイルもヴォーカル・スタイルも完成していて驚かされる一方で、彼が傾倒した米国ルーツ音楽の華やきがちらほら音楽に顔を出していて面白い。ライナー・ノーツはLong John Baldry。Long JohnはWizzのバスキングの友だったそう。w. Clive Palmer, Dave Deighton。1969年/2017作。紙ジャケ。韓国Big Pink)
- \*GERRY LOCKRAN:Hold On - I'm Coming! C  
 (1967年作のGerry Lockranの一枚目。彼のブルースを中心にした米国南部音楽志向音楽は、ロック創生期のフォーク、ロック、ジャズなどの音楽性がごった煮的で、Gerryのアクの強い唄と相まっ

て、時代の音楽を超えた圧倒感の感じられる。興味深いのはバックを務める Danny Thompson や Terry Cox など四名が叩き出すロックにジャズの要素が見え隠れしていて、Pentangle につながる音楽性も持っていること。デビュー作にして名盤。1967 年/2017 作。紙ジャケ。韓国 Big Pink)

- \*IAIN MATTHEWS: Intimate Wash D  
(“The Notebook Series No. 3”。1993 作。Perfect Pitch)
- \*PLAINSONG: On Air C  
(副題“The Original & Unreleased BBC Session Recordings”。1972 年の BBC ライヴ。1992 作。Band Of Joy)
- \*PLAINSONG: Dark Side Of The Room (97 作。Line) B
- \*RALPH McTELL: A Collection Of His Love Songs ¥2800  
(全 23 曲。1989 作。Castle)
- \*TONY ROSE: Under The Greenwood Tree D  
(CD-R 盤。検品済。イングランドのトラッドの名盤！！1971/2004 作。Leader)
- \*TIR NA NOG: Tír na nóg (1971 年/1992 作。BGO) B
- \*CAROL GRIMES: Warm Blood C  
(Grease Band っぽい南部ロック・サウンドの一曲目でぶっ飛んだ英国の女性シンガーの Carol Grimes の 1974 年作。米国ナッシュビルと英国ロンドンで録音された本作は、一曲一曲趣向の異なる大風呂敷な南部ロック～スワンプ風の女性 SSW アルバムといった印象で、泥臭いロックの中、Carol は一曲一曲をシャウトする。同じ 1974 年に“Insane Asylum”というスワンプ系アルバムでソロ・デビューした Kathi McDonald を思い出した。w. Ron Cornelius, Kenny Buttrey, Tommy Cogbill, Mac Gayden, Karl Himmel, Jess Roden, Graham Bell 他。Produced by Bob Potter。1974 年/2017 作。紙ジャケ。韓国 Big Pink)
- \*BARBARA DICKSON  
: From The Beggars Mantle... Fringed With Gold A  
(1970 年/2002 作。CD-R 版。レコード会社自家製でジャケット品質二流。Phonograph)
- \*PHILLIP GOODHAND-TAIT & THE STORMSVILLE SHAKERS  
: Ricky-Tick... 40 Years On C  
(Phillip Goodhand-Tait & the Stormsville Shakers' 時代 [1965-1966] の 10 曲。2005 作。Span TV)
- \*GOTHIC HORIZON: The Jason Lodge Poetry Book C  
(Andy Desmond & Richard Garrett のデュオ、Gothic Horizon の 71 年作。夢心地な美しきブリティッシュ・フォーク。田園志向というか、自然が身近で水清く心清い清々しい音楽。2002 再発。Hugo-Montes)
- \*JACK THE LAD: The Old Straight Track (1974/2005 作。EMI) D
- \*MICK SOFTLY: Songs For Swingin' Survivors B  
(M. Softly の 65 年作の枚目。65/2003 作。Hux)
- \*GAY & TERRY WOODS: Backwoods A  
(Gay & Terry の 1975 年の一枚目。1975 年/2002 作。Hugo-Montes)
- \*JAKE WALTON: Songs From The Gurdy-man C

(Jake Walton&Jez Lowe の"Two A Roue" {1986 年} から 6 トラック  
と Jake Walton の"Sunlight And Shade" {1982 年} から 8 トラック  
の計 14 トラック収録の編集盤。Wundertute)

- \*FAMOUS JUG BAND: 0 For Summer B  
(2000 年録音の Famous Jug Band 再結成盤。全 16 曲。2001 作。Market Square)
- \*LINDIFARNE: Buried Treasures Vol. 3 B  
(副題"Rare and unreleased 1969-2000。全 17 曲。2000 作。Siren Music)
- \*ERIC CLAPTON: 461 Ocean Boulevard (1974 年。Polygram) ¥1000
- \*YOUNG TRADITION: Oberlin 1968 A  
(Young Tradition {Peter Bellamy, Royston Wood, Heather Wood} の 1968 年 11 月 17 日、米国の Oberlin College で行われたライブ。イングランドのトラッド・ファンなら冷静には聴けない見事なアカペラによるトラッド・シンキング・アルバム。三人のシンキングは極めてスティック。そのスティックさが音楽的にイングランド的の気品を生み、伝統歌の質をピュアに高めている。Peter Bellamy のシンキングのみならず、Royston も Heather もオーラを放つほどに見事なシンキングを高く貫いている。滅茶苦茶素晴らしい。アカペラによるイングランドのトラッド・シンキングの原点であり、一つの理想型。全 25 曲。1968/2013 作。Fledg'ling)
- \*MANDY MORTON BAND: Valley Of Light D  
(Mandy Morton & Spriguns の Mandy Morton の Mandy Morton Band の唯一のアルバム。1983 年作。バンド・メンバーは Simon Wheeler Hunt, Sean Boucousis, Dominic Green, Gaynor Griffith, David Griffith。独自のブリティッシュ・フォークの世界を創作しようという意欲が表出したブリティッシュ・フォーク。1983/1995 作。English Garden)
- \*TOM YATES: Love Comes Well Armed A  
(Tom Yates {1944-1993} は David Bowie とロンドンのフラットで一緒に、Paul Simon の紹介でアルバム・デビューをしたという。本作は 1973 年に President というレーベルから発売された Tom Yates の二枚目。B. J. Cole や Duncan Browne がバックを務めていて、一種独特な浮遊感のある世界は John Martyn の世界にも通じるが、T. Yates の方がフォークっぽい。1973/2013 作。Epona)
- \*SHIRLEY & DOLLY COLLINS: For As Many Will ¥2666  
(Shirley & Dolly の 1978 年作。クリンク・レコードより国内盤発売。解説: 船津潔。解説は、「シャーリー & ドリー・コリンズの歩み」、「『フォー・アズ・メニー・アズ・ウィル』はシャーリー & ドリーの終着点」そして「曲目について」という構成。78/2012 年。クリンク)
- \*MARY JANE: Tacit B  
(70 年代ブリティッシュ・フォークの麗しさを追い求める Mary Jane の 3 枚目はライブ・セッション。Fairport, Steeleye, Trader Horn, Trees のフレイヤーがお好みの方は必聴。"Matty Globes" "そっくりな" "Lady Margaret", "She Moved thro' the Fair", "Blackwaterside" ほかに全 13 曲。2000 作。Seventh Wave)
- \*IAN A ANDERSON: Time Is Ripe a

(Village Thingレコード 40周年を記念して発売された現 fRoots 誌編集  
長で Village Thing の創設者の Ian の Village Thing 時代の 70 年、71  
年、72 年作の三枚から 17 曲と未発表音源からの 3 曲の 20 曲収録編集  
CD。Wizz Jones の諸作に匹敵する 70 年代ブリティッシュ・フォーク/ギター・ファン  
は必聴の名作。w. Hunt&Turner, Mike Cooper, Maggie Holland, etc.  
2010 作。Weekend Beatnik)

- \*THE INCREDIBLE STRING BAND: Their First Album B  
(Robin Williamson&Mike Heron による ISB の 67 年作。デジパック{紙ジャケット}。67/2010 作。Fledg'ling)
- \*JULIE FELIX: Cloth's Web B  
(1972 年作に 6 曲のボーナス曲入りの全 18 曲。99 作。Red Fox)
- \*ROBIN WILLIAMSON & HIS MERRY BAND: Journey's Edge B  
(1975 年録音の未発表音源 10トラックを加えた計 21トラックで再発。Merry  
Band は 1975 年に Robin が憧れのアメリカの町で結成したバンドでメンバー  
は Sylvia Woods {ハープ、ハープシコード、ヴォーカル}, Chris Caswell {ハープ、フ  
ルート、アコ、ヴォーカル}, Jerry McMillan {フイドル、ヴォーカル}。数多くの Robin  
の諸作の中で最もケルティックで初々しい。2008 作。Fledg'ling)
- \*TUDOR LODGE: Tudor Lodge B  
(Digipak {紙ジャケット} 仕様。71/2007 作。Repertoire)
- \*FORMARY FAT HARRY: Goodbye For Good B  
(副題 "The Lost Recordings 1969-72"。Country Joe&The Fish のベ  
ーナス奏者だった Bruce Barthol がカリフォルニアから二人の友人を呼び寄せ  
イギリスで結成したブリティッシュ・フォーク・ロック・バンドの未発表音源集。全 12  
トラック。P16 のブックレット付。2008 作。Hux)
- \*VASHTI BUNYAN: Some Things Just Stick In Your Mind C  
(ハードカバー特製見開き紙ジャケットで全 25トラック収録の 2 枚組。副題  
"Singles and Demos 1964-1967"。1964 年から 67 年収録のシングル盤  
音源 4 トラックとシングル盤未発表音源 3 トラックと多数の未発表デモテープ音  
源等からの編集盤。P24 のブックレット付。2007 作。Fatcat)
- \*RALPH McTELL: The Definitive Collection ¥1880  
(R. McTell のシングル盤音源の "Street Of London" を含む 16トラック収録  
の編集 CD。2007 作。Highpoint)
- \*ROBIN WILLIAMSON: The Island Of The Strong Door ¥1050  
(95 作。Pig's Whisker Music)
- \*DAYLIGHT: Daylight A  
(Mike Silver と Chrissie Quayle がリード・ヴォーカルのブリティッシュ・フォーク  
グループ。これほど鮮度の高いフォーク・ロック・バンドは英国にも米国にも  
見付けるのが難しい。Produced by Tony Cox。71 作。Hugo-Montes)
- \*MCGUINNESS FLINT: The Original B  
(原題 "McGuinness Flint"。デビュー作。1970 作。EMI)
- \*LYLE MCGUINNESS BAND: Elise, Elise (1997 作。Diamond) C
- \*MARIE LITTLE: Factory Girl B  
(71 年 Argo から発売された M. Little のデビュー作。{LP の場合は} A 面に  
収録の 6 曲がトラッド調で B 面に収録の 6 曲がフォーク〜ブルース調。70 年代  
初期のブリティッシュ・トラッドの芳香香る名盤。w. Robin&Barry Dransfield  
, Smiley, Dave Moses, Bill le Page。71/2007 作。Smartweed)

- \*PENTANGLING "The Collection" D  
(Pentangle{17曲}、John Renbourne{22曲}、Bert Jansch{22曲}の計61曲入3枚組セット。2004作。Sanctuary)
- \*PENTANGLE:Cruel Sister a  
(リマスター。70/2001作。Sanctuary)
- \*PENTANGLE:Think Of Tomorrow(91作。トイHypertention) B
- \*JOHN RENBOURN:Ship Of Fools B  
(J. R. , Maggie Boyle, Steve Tilston, Tony Roberts の実質的 J. Renbourn Group の 88 年作。88/2005 作。Sanctuary)
- \*JOHN RENBOURN:John Renbourn a  
(65年のデビュー作。未発表曲3曲入りリマスター。詳細解説付。2001作。Sanctuary)
- \*JOHN RENBOURN:Black Balloon(79/2005作。Sanctuary) a
- \*JOHN RENBOURN GROUP:Enchanted Garden a  
(80/2005作。Sanctuary)
- \*JOHN RENBOURN:The Nine Maidens(85/2005作。Sanctuary) a
- \*PETER KIRTLEY:Peter Kirtley B  
(元 Pentangle のギター&ヴォーカルの P. Kirtley の 92 年の CD。w. Bert Jansch, Liam Genockey, Kenny Cradock, Sally Barker, etc. ブルースやジャズの要素もあるカリジナルなフォーク・ロック。92作。トイHypertension)
- \*PEOPLE ON THE HIGHWAY "A Bert Jansch Encomium" A  
(B. Janschトリビュート盤2枚組。Polly Bolton, Maggie Boyle, Donovan, Martin Jenkins, Wizz Jones, Eleanor McEvoy, Ralph McTell, Rab Noakes, Kelly Joe Phelps, Chris Smither, Al Stewart, Steve Tilston, Brooks Williams and more! 全26曲。2000作。Market Square)
- \*BERT JANSCH:Birthday Blues A  
(2曲ボーナス付。詳細解説付。69/2001作。Sanctuary)
- \*BERT JANSCH:Moonshine(73作。Sanctuary) a
- \*BERT JANSCH:The Ornament Tree(90作。Sanctuary) a
- \*BERT JANSCH:From The Outside a  
(紛失曲"I Sure Wanna Know"を収録し、新たに CD 再発。93/2001作。Sanctuary)
- \*BERT JANSCH:Live At The 12 Bar(96作。Sanctuary) a
- \*BERT JANSCH:Downunder a  
(ギターも冴えて Bertらしいギターの弾き語り中心のライヴ。全15曲。98年録音。2001作。Castle Music)
- \*BERT JANSCH:Crimson Moon(2000作。Sanctuary) a
- \*BERT JANSCH:The River Sessions B  
(74年11月グラスゴーの City Hall でのライヴ。74/2004作。River)
- \*BERT JANSCH:Dazzling Stranger a  
(アンソロジー-20曲入編集2枚組。2000作。Sanctuary)
- \*HENRY McCULLOUGH:Cut B  
(1978~83年の未発表音源集。全15トラック。87作。Line)
- \*IAN GOMM:Rock'n'Roll Heart(2001作。GommSongs) A
- \*CHAS&DAVE:From Tottenham To Tennessee A

(Chas&Dave と Joe Bangles が選曲した 79 年から 91 年の音源からの 39 曲収録の 2 枚組。Chas&Dave 独特な二流のセンスが随所に散りばめられた最高のパブ・ロック。これ一枚で彼等のアブラの乗った時代の音楽はたっぷり楽しめる。2006 作。Music Club)

- \*CHAS' N' DAVE: Street Party a  
(ノ・ストップ ! パブ・ロック・オンパレードの 50 曲入。2003 作。Pickwick)
- \*DONOVAN: Greatest Hits Live B  
(1986 年、バンクーバーでのライブ + ボーナス曲 3 曲 + 未発表音源曲 1 曲の計 18 曲。2001 作。Varese Sarabande)
- \*SALLY' S FRIENDS: Boys Of The Town B  
(アイリッシュ系フォーク・デュオの Sally' s Friend ~ Chris Ward [ヴォーカル、ギター] と Pete Onions [ヴォーカル、マンドリン、ギター] の 79 年作。Chris & Pete のシンギングは 70 年代ブリティッシュ・フォークの香りが高く、きりっとして温か。Kissing Spell)
- \*STONE ANGEL: East Of The Sun B  
(ブリティッシュ・フォーク・ロックの名盤。2001 作。Kissing Spell)
- \*STONE ANGEL: Lonely Waters B  
(ブリティッシュ・フォーク・ロックの名盤。2004 作。Kissing Spell)
- \*JAN DUKES DE GREY: Mice And Rats In The Loft A  
(Jan Dukes の 71 作。71/2004 作。Breathless)
- \*DAVE WAITE & MARIANNE SEGAL: Paper Flowers C  
(伝説のフォーク・ロック・バンド Jade の Dave & Marianne が Jade 結成前にデュオで活動していた時代の 1967 ~ 70 年の未発表曲集。全 22 曲。P12 のブックレット付。2004 作。Lightning Tree)
- \*CAT STEVENS: Matthew & Son a  
(CD では未発表のボーナス曲 8 曲付の計 22 曲入。67/2003 作。Deram)
- \*CAT STEVENS: Tea For The Tillerman a  
(“Wild World”, “Father And Sun” を含む全 11 曲。70 作。Universal Island)
- \*JEFF BECK: Blow By Blow/Wired (2 CD セット。Sony) C
- \*KILBURN AND THE HIGH-ROADS: Handsome A  
(ご存知 Ian Dury が在籍したパブ・ロック・バンドの 75 年作が 3 曲の未発表音源ボーナス曲入りで CD 復刻。全 18 曲。諧謔的センスと職人ワザ的ロック・ロール魂と魔法仕掛け的センスのあるロックは「パブ・ロック」の範疇を飛び出している。これは大衆娯楽ロックだ。Chas & Dave も真っ青。75/99/2004 作。Dawn/Castle)
- \*FOOTPRINTS IN THE SNOW A  
(副題 “An Anthology Of The British Singer-Songwriter Genre 1965-1974”。44 曲収録 2 枚組。Donovan, Bert Jansch, Owen Hand, Billy Nicholls, Ralph McTell, Billy Connolly, Alan Hull, Shelagh McDonald, Gerry Rafferty, Steve Tilston, Richard Digance, Dave Cartwright, Alan Price and more。2004 作。Sanctuary)
- \*TREES: The Garden Of Jane Delawney A  
(70 年代ブリティッシュ・フォークの名盤。70 作。Rewind/Columbia)
- \*AL STEWART: Orange (72 作。ミレニアム特別仕様。Columbia) A

- \*FROGMORTON:At Last D  
 (幻のアルバム CD 復刻。Frogmorton は Young Tradition からの影響大の紅一点の Lucy Sharpe を含む 7 人組トラッド・グループ。Young Tradition 風ガール・ハーモニーを核に青春フォークから Lindisfarne 的庶民フォーク・ロク的なものまで幅広い「フォーク」を展開する。76 作。2002 再発。Elegy)
- \*CHRIS THOMPSON:Chris Thompson B  
 (73 年作が 3 曲のボーナス付で、CD 復刻。ニューズ・ランド人だがここで。理想のギター弾き語りの 70 年代ブリティッシュ・フォーク。2001 作。Scenescof)
- \*MICK GREENWOOD:Midnight Dreamer A  
 (74 年の 3 枚目。w. Pat Donaldson, Gerry Conway, William a Murray, Barry de Souza。Voiceprint)
- \*DULCIMER:When A Child C  
 (純真無垢で英国趣味な最良の 70 年代ブリティッシュ・フォークの芳香いっぱい Peter Hodge&David Eaves の Dulcimer の 93 年作。夢見気分保証。不老の Dulcimer。ブリティッシュ・フォーク・ファンの宝物。93 作。President)
- \*SYNANTHESIA:Synanthesia D  
 (Dennis Homes, Jimmy Fraser, Leslie Cook の三人組ブリティッシュ・フォーク・グループ。アコースティック・ギターやフルートやオーボエやヴィブラフォンの浮遊感のある不思議なサウンド、そして夢見心地なヴォーカル。Donovan っぽさを感じる September Production 産ブリティッシュ・フォークの名盤。1969 作。1990 年再発。Elegy)